

地方税統一QRコードを利用した収納データのMPN一括消込データのセット内容について (2022年3月)

日本マルチペイメントネットワーク運営機構

※記載を変更した項の欄外に○を付し、変更箇所を赤字とする。

■MPNヘッダー部【一括消込データ】(IF仕様書 表5. 1.0. 2-1)

項番	項目	属性	設定内容
1	レコード識別子	an7	・'MPN△HDR' (△はスペース)
2	データ識別コード	an5	・一括消込データの識別コード ・'MPN01'
3	被仕向けセンターコード	an10	スペース
4	仕向けセンターコード	an10	送信元金融機関又は共同利用センタのセンタコード
5	送信日	n8	金融機関送信日付
6	MPN取扱日	n8	オールゼロ
7	口座振替データ伝送サービス情報		未使用
8	レコード長	n3	'200'
9	幹事金融機関収納区分	n1	'1': 幹事金融機関のみ '0': それ以外
10	予備	n95	スペース

金融機関からの照会および回答 (黄色網掛けは確認中のもの)
⇒MPNセンタが地方税共同機構へ転送時に設定する (送信先収納機関または共同利用センタのセンタコード)
⇒MPNセンタが地方税共同機構へ転送時に設定する (MPNセンタがデータを処理した日付)
統一QRの場合は何を入力するのか? ⇒ALL半角スペース
統一QRの場合は何を入力するのか? ⇒みずほ銀行およびゆうちょ銀行以外は「0': それ以外」

■サブファイル：ヘッダレコード【一括消込データ】(IF仕様書 表5. 1.0. 2-2)

項番	項目	属性	設定内容
1	データ区分	n1	・'1': ヘッダレコード
2	データ識別コード	an5	・'MPN01': 一括消込データ
3	コード区分	n1	・'0': JIS
4	収納機関コード	an8	・収納機関の機関コード
5	金融機関コード	n8	・収納金融機関の機関コード
6	入金日	n8	・収納機関が民間の場合：取り決めた入金日を設定 ・収納機関が地公体の場合：オールゼロを設定
7	納付金区分	n2	・'01': 一般料金 ・'02': 地方税、地公体料金
8	金融機関任意情報	an10	・金融機関が任意に使用可能 (未使用時はスペース) ※サブファイルの識別として使用する場合、事前に収納機関と取り決める。
9	予備	an157	・スペース

金融機関からの照会および回答
地方税共同機構の収納機関番号でよいか? ⇒13800000となります。
地方税共同機構の場合も「ALL ZERO」でよいか? ⇒ご認識のとおりです。
'02'をセットすることでよいか? ⇒'02'をセットする 統一QRの場合は何をセットするのか? ⇒ALL半角スペース

■サブファイル：データレコード【一括消込データ：地方税、地公体料金用】(IF仕様書 表5. 1.0. 2-3 b およびQR規格取りまとめ資料(青色網掛け部))

項番	項目	属性	設定内容	QRコード破損(読取不能)時の取扱 ※納付書券面の確認イメージについては別紙を参考	
1	データ区分	n1	・'2': データレコード	***	
2	チャネル区分	n2	・'10': 一括伝送方式	***	
3	納付金区分	n2	・'02': 地方税、地公体料金	***	
4	入力区分	n2	・金融機関事務センタ等における入力方式 ・'06': QR	・'01': マニュアル入力 QRコード破損時に、納付書の券面情報にもとづき、一括消込データを手入力する場合 ・'06': QR QRコード破損時に、地方団体から8桁情報やQRコード情報を受領し、その情報から一括消込データを作成する場合	
5	収納識別情報	an90	利用者、請求書等を特定するためのキー情報 (OCR情報を読み取り1段目、2段目の順で設定)	***	
04-1	チェックディジット	2		固定値 ('99') を設定する。	
04-2	記号番号	11	便宜的にALL0を設定	固定値 ('00000000000') ゼロ11桁を設定する。	
04-3	払込金額	11	今回納付額合計 桁数が不足する場合は、右詰、前ゼロ埋め	納付書券面に記載された納付金額を確認して設定する。 桁数が不足する場合は、右詰、前ゼロ埋めとする。 ※延滞金を追加して収納を受け付けた場合であっても、あくまで当初納付書に記載されていた金額を設定するように留意されたい。 ※納付書券面の確認イメージについては別紙を参考とされたい。	
04-4	料金負担区分	1	手数料の負担者を識別する項目。"2"(加入者負担)を設定	固定値 ('2') を設定する。	
04-5	機関ID(収納機関番号)	5	地方税共同機構をMPNの収納機関とする番号"13800"	固定値 ('13800') を設定する。	
04-6	印紙税の要否の別	1	領収書への印紙の要否を識別する項目。"0"(不要)を設定	固定値 ('0') を設定する。	
04-7	税目・料金(納付区分)	3	税目を識別するための税目・料金番号	納付書券面に記載された税目料金番号(3桁)を確認して設定する。 ※MPN帳票とそれ以外の帳票における記載方法に留意されたい。	
加入者使用桁	04-8	拡張領域	5	便宜的にALL0を設定	固定値 ('00000') ゼロ5桁を設定する。
加入者使用桁	04-9	チェックディジット	2		固定値 ('99') を設定する。
加入者使用桁	04-10	案件特定キー	20	地方団体が付番する案件特定キー番号 桁数が不足する場合は、右詰、前ゼロ埋め	納付書券面に記載された案件特定キーを確認して設定する。 桁数が不足する場合は、右詰、前ゼロ埋めとする。 ※MPN帳票とそれ以外の帳票における記載方法に留意されたい。
加入者使用桁	04-11	確認番号	6	地方団体が採番する確認番号 桁数が不足する場合は右詰、前ゼロ埋め	納付書券面に記載された確認番号を確認して設定する。 桁数が不足する場合は右詰、前ゼロ埋めとする。 ※MPN帳票とそれ以外の帳票における記載方法に留意されたい。
加入者使用桁	04-12	eLTAX利用領域	1	"0"を設定	固定値 ('0') を設定する。
加入者使用桁	04-13	団体番号	5	共通納税機関コード	納付書券面に記載された収納機関番号(共通納税機関コード)を確認して設定する。 ※MPN帳票とそれ以外の帳票における記載方法に留意されたい。 ※地方税共同機構による仕様検討の結果、地方公共団体コードと異なる値が設定される場合があるので留意されたい (MPN加入済みの地方団体の場合は、MPNの収納機関番号の流用を許容する)。
加入者使用桁	04-14	税務事務所コード	3	税務事務所コード	固定値 ('000') を設定する。 ※納付書券面上では識別できない情報のため、固定値を設定する。 ※地方団体側が納付書の特定の目的のために利用する情報ではないため、固定値の設定とする。
加入者使用桁	04-15	拡張領域	7	便宜的にALL0を設定	固定値 ('0000000') ゼロ7桁を設定する。
未使用領域			7	収納識別情報(90桁)の残り(7桁)は半角スペースで埋める	***

金融機関からの照会および回答

○	6	収納金額	n11	・利用者から収納した金額 ・納付額+延滞金 ・桁数が不足する場合は、右詰、前ゼロ埋め	***	統一QRコードの場合は延滞金は不要でよいか？ ⇒当該運用では、地方税統一QRからセットする場合、「納付額」としてQRコード格納金額（地方税統一QRコード格納項目の項番04-3払込金額）をセットする想定です（※再発行された場合などで、本税と延滞金が記載された納付書についても、その合計額が払込金額としてQRに格納されるので、当該金額を「納付額」にセットする）。（参照）第2回QR活用検討会配付資料「個別の地方団体・金融機関の交渉の中で、従前の取扱いを継続することまで排除するものではありませんが、地方税統一QRコードを活用したeLTAX経由の収納については、地方団体が延滞金の計算を行い、当該延滞金に係る納付書を別途発行することになります。」
○	7	納付額	n11	・OCR情報（またはバーコード情報）から読み取った金額 ・桁数が不足する場合は、右詰、前ゼロ埋め	***	統一QRコードから読み取った金額でよいか？ ⇒ご認識のとおりです。
	8	延滞金	n8	・延滞金がある場合、金額を個別に設定 ・未使用時はオールゼロ	***	一律セット不要（または“0”をセット）ということでしょうか？ ⇒“00000000”をセットします。
	9	予備	n12	・オールゼロ	***	
	10	他店券金額	n11	・他店券で支払われた金額を個別に設定 ・未使用時はオールゼロ	***	
○	11	金融機関店舗コード	n6	・収納を行った金融機関の店舗を表すコード ・未使用時はオールゼロ	***	・MPN一括伝送ルートでのインターネットバンキング、スマホ収納が許容されるとした場合、セット方法は？ ⇒(1)IB、スマホからの一括伝送方式も許容されます（=データ作成方法は各金融機関のご判断となります）。 (2)MPNセンターのシステム上はどのようなコードでも問題なく、オールゼロで問題ありません。利用される場合は実店舗、事務センター等で重ならない番号などを各金融機関で割り当ててください。 ・実在の店舗コードをセットするのが通常運用である、としないことを確認したい。 【留意】 読み取ったQRには無い情報を後で付加すると、システム開発や人的な作業が発生し、現実的に負荷が大きい。また、効率化を目指す本案件の目的にも合わない。 (2021/12) ⇒「地方税統一QRの運用が始まって現仕様（店舗コードの未使用を許容）」は変更しない方針とする。 (MPN収納機関登録済み地方団体に確認する。)
	12	収納日	n8	・利用者が金融機関チャネルにおいて支払いを行なった日付を個別に設定	***	
	13	金融機関処理日	n8	・金融機関事務センター等で入力処理を行った日付	***	MPN一括伝送ルートでのインターネットバンキング、スマホ収納が許容されるとした場合、セット方法は？ ⇒IF仕様書に従って金融機関事務センター等で入力処理を行った日付を設定してください
	14	金融機関処理通番	n8	・金融機関処理日（項番13）における一連番号	***	
	15	手数料負担区分	n1	OCR情報から読み取り設定 ・‘0’：利用者負担なし ‘1’：利用者負担あり	***	統一QRコードの場合は何をセットするのか？ ⇒‘0’：利用者負担なし」となります。 (補足)統一QRコードの項番04-4「料金負担区分」には“2”（加入者負担）がセットされますので、本項番は同じ効果を意味する‘0’：利用者負担なし」となります。
	16	税目・料金番号	n3	・オールゼロ	***	⇒MPNセンターが地方税共同機構へ転送時に設定する (データレコードの収納識別情報のQR情報を読み取り設定)
○	17	チャネル区分2	an2	・取り扱いチャネルを設定する。 ・‘スペース’：窓口‘02’：ATM	***	MPN一括伝送ルートでのインターネットバンキング、スマホ収納が許容されるとした場合、セット方法は？ ⇒本項目は、一括伝送方式で処理された納付について、利用者の手元に領収印が押された納付書がある（窓口で受付けたもの）か、ないか（ATMでOCR読取されたもの）かを、地方団体が確認するために利用する項目である。 ・その趣旨から、一括伝送方式で処理され、利用者の手元に領収印が押された納付書が残らない方式（※）は全て「02」を利用する方針とする。 (MPN収納機関登録済み地方団体に確認する) (※)店頭で金融機関が設置するタブレットを利用する一括伝送方式、利用者が所有するPCやスマホなどのリモートチャネルを利用する一括伝送方式について事務局に照会が来ているが、これらの場合が「02」に該当する。 ・なお、「02」の名称について、コード値はそのままとし、分かり易い名称へ変更することを検討する。
	18	予備	an14	・スペース	***	

■サブファイル：トレーレコード【一括消込データ：地方税、地公体料金用】（IF仕様書表5.10.2-4b）

項番	項目	属性	設定内容
1	データ区分	n1	・‘8’：トレーレコード
2	納付金区分	n2	・‘02’：地方税、地公体料金
3	データレコード件数	n8	・データレコードの件数
4	収納金合計金額	n13	・データレコードの合計
5	納付額合計金額	n13	
6	延滞金合計	n10	・予備はオールゼロ
7	予備	n16	
8	他店券金額	n13	・データレコードの合計
9	予備	an124	・スペース

■エンドレコード【一括消込データ・合計値あり】（IF仕様書表5.10.2-5b）

項番	項目	属性	設定内容
1	データ区分	n1	・‘9’：エンドレコード
2	データレコード件数合計	n10	・全トレーレコードのデータレコード件数の合計
3	収納金額合計	n15	・全トレーレコードの収納金額合計の合計
4	予備	an174	・スペース

金融機関からの照会および回答

金融機関からの照会および回答

別紙_1(MPN標準帳票における納付書券面確認イメージ (カク公はあくまで例示))

【QRコード破損（読取不能）時に確認】

- ① 「45000」
→ 項番5：項目04-3「払込金額」
- ② 「12345」
→ 項番5：項目04-13「団体番号」
- ③ 「12345678901234567890」
→ 項番5：項目04-10「案件特定キー」
- ④ 「123456」
→ 項番5：項目04-11「確認番号」
- ⑤ 「123」
→ 項番5：項目04-7「税目・料金（納付区分）」

※MPN標準帳票及びMPN準拠帳票においては、MPNの収納機関番号等の欄に共通納税用の各番号が記載される。

○83桁情報へのあてはめ

前半39桁

CD(2)	記号番号(11)	払込金額(11)	① 料金負担区分	② 印紙税の要否の別	③ 税目・料金(3)	④ 拡張領域(5)
99	00000000000	XXXXXX XXXXXX	2	13800	0XXX	00000
	固定値	券面情報 ※	固定値	券面情報	固定値	


※桁数不足の場合は右詰、前ゼロ埋め

後半44桁

CD(2)	案件特定キー(20)	確認番号(6)	③ eLTAX利用領域	④ 税務事務所コード(3)	⑤ 拡張領域(7)
99	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXX	0XXXXX	000	0000000
	券面情報 ※	券面情報 ※	固定値	券面情報	固定値

※桁数不足の場合は右詰、前ゼロ埋め

別紙_2)MPN準拠帳票における納付書券面確認イメージ（マル公はあくまで例示）

公 □□県 XXX市 納入済通知書 

加入者名 XXX市会計管理者 □座番号 00100-9-960000 納付金額 45000 円

取納機関番号 12345 納付番号 12345678901234567890 確認番号 123456 納付区分 123

税目等 ② ③ ④ ⑤


納付期限

1111111110000000000000000000000000111111
 111111111000000000000000000000000000000011111

領収日附印

(□□県XXX市控)

取りまとめ店：ゆりちょ銀行 * 新金庫券センター

eL-QR  見本

公 □□県 XXX市 納付書(原符) 公 □□県 XXX市 領収証券

加入者名 XXX市会計管理者 加入者名 XXX市会計管理者

□座番号

納付金額

払込人住所氏名

税目等

納付番号 12

確認番号 1

納付期限

切り取らないで、引出しください。

(金融機関/郵便局控) (納入者控)

【QRコード破損（読取不能）時に確認】

- ① 「45000」
→ 項番5：項目04-3「払込金額」
- ② 「12345」
→ 項番5：項目04-13「団体番号」
- ③ 「12345678901234567890」
→ 項番5：項目04-10「案件特定キー」
- ④ 「123456」
→ 項番5：項目04-11「確認番号」
- ⑤ 「123」
→ 項番5：項目04-7「税目・料金（納付区分）」

※MPN標準帳票及びMPN準拠帳票においては、MPNの収納機関番号等の欄に共通納税用の各番号が記載される。

この帳票は機械で処理しますので、QRコード欄を汚さないように特にご注意ください。
また、本票を折ったり曲げたりしないでください。

○83桁情報へのあてはめ

前半39桁

記号番号(11)		① 料金負担区分			② 印紙税の要否の別		
CD(2)	① 機関ID(5)	① ②		③	④		
9900000000000	XXXXXX	X	2138000	0	XXX	00000	
固定値	券面情報 ※	固定値	券面情報	固定値	券面情報	固定値	

※桁数不足の場合は右詰、前ゼロ埋め

後半44桁

案件特定キー(20)		③ eLTAX利用領域			④ 税務事務所コード(3)	
CD(2)	⑤ 共通納税機関コード(5)	⑥	⑦	⑧		
99XXXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXXX	0XXXX	000000000	
固定値	券面情報 ※	券面情報 ※	固定値	券面情報	固定値	

※桁数不足の場合は右詰、前ゼロ埋め

別紙_ (3)MPN標準帳票・MPN準拠帳票以外の納付書券面確認イメージ（カク公はあくまで例示）

【QRコード破損（読取不能）時に確認】

- ① 「45000」
→ 項番5：項目04-3「払込金額」
- ② 「12345」
→ 項番5：項目04-13「団体番号」
- ③ 「12345678901234567890」
→ 項番5：項目04-10「案件特定キー」
- ④ 「123456」
→ 項番5：項目04-11「確認番号」
- ⑤ 「123」
→ 項番5：項目04-7「税目・料金（納付区分）」

※MPN標準帳票及びMPN準拠帳票以外の帳票においては、「eL番号」に続けて共通納税用の各番号が記載される。

○83桁情報へのあてはめ

前半39桁

CD(2)	記号番号(11)	払込金額(11)	① 料金負担区分	② 印紙税の要否の別	機関ID(5)	税目・料金(3)	拡張領域(5)
99	00000000000	XXXXXXXXXX	2	138000	0	XXX	00000
	固定値	券面情報 ※		固定値		券面情報	固定値

※桁数不足の場合は右詰、前ゼロ埋め

後半44桁

CD(2)	案件特定キー(20)	確認番号(6)	③ eLTAX利用領域	④ 税務事務所コード(3)	共通納税機関コード(5)	拡張領域(7)
99	XXXXXXXXXX	XXXXXX	0	000	XXXXX	0000000
	券面情報 ※	券面情報 ※	固定値	固定値	券面情報	固定値

※桁数不足の場合は右詰、前ゼロ埋め